

人計りになする也、早速彼場会より懇談あり、開き代表を選ぶ要も集めて
置て其子場代表者會議に參加する物にせよ、工友會社の決議を直に実行す
る様にするんだ、今すぐやらすべし、
一九三〇、七、一

別紙五

（四）森田イシカ、川崎三郎等（三）

公水場従業員、潮波の小ナルを打ぎたす、

産業合理化は益々不景氣と失業を惹きおこし、倭連は倭連の力から賃金を下げ、

其手始め潮波のバカムクを打ぎ殺せ、

アイツは赤色自衛隊を起し、赤心団ヲ推入し、やがて、

倭連は最近迄一步も下ルナ、一步前進は、本場の全従業員は團結せよ、

スハイ日は今般也、常火を二回川には、
共同闘争とでも不押カケ、共産党・旗の下に

裏面
労働者農民の政村を作れ、
日本共産党の方

ソビエト政府を守れ、

その科学研究生

(別紙六)

親愛なる所長諸君、我々潮波の兄弟は今工場を閉鎖し、諸君が金で集めて
周を破る會は、此生此の境を回復してあるが、我々潮波工場主伊東生は、我々
おとなしく居るの付け、昨午五月と今年五月と二回に亘り賃銀値下を行
つたのだ、尚其の上二月には二人の兄弟を首にし、五月に至り又不公平分子の
不首
切り、我々は抑へ付け、未だの、

然して今夜又賃銀二割五分の値下を強要した。此は彼日前者警察とくるとなり中心
分子が、當所へ往來する中村を何等の理由なく、箱に押し込め、上段と云ふ及勤ゴロを先
に使、無理やり値下を行たのだ、二り不當なる資本家の排撃に對して我々が敢て従へない
るゝか、我々労働者の生活が、いへば物の諸君が知するやあらう

此の上値下され、僉等は、いへば食を不行けるが、賃銀が掛へるか、倭連は、
用い敬願したか、用い介介介介、中から一割五分減歩したの、
其上拾銭つ値下し、又今後、休業をする其際、
おのり、我々、
に、
百三、百四、代表者、交渉に對しても、
工場を、
我々は、
てあるのだ、

親愛なる所長諸君、我々の意を諒せられ、
七月十七日

深川正西平井所六、潮波本場従業員本部